

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社博展 上場取引所 東  
 コード番号 2173 URL <https://www.hakuten.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 田中 雅樹 TEL 03-6278-0010  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明の動画配信を予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第3四半期	6,395	36.1	61	—	142	—	406	—
2021年3月期第3四半期	4,697	△49.9	△861	—	△694	—	△428	—

（注）包括利益 2022年3月期第3四半期 406百万円（－％） 2021年3月期第3四半期 △428百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	51.94	—
2021年3月期第3四半期	△54.86	—

（注）2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2022年3月期第3四半期	5,250	1,388	26.5	177.15
2021年3月期	4,447	973	21.9	124.48

（参考）自己資本 2022年3月期第3四半期 1,388百万円 2021年3月期 973百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,400	29.3	400	—	460	—	620	—	79.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社ニチナン、除外 1社 （社名）株式会社アイアクト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	7,975,100株	2021年3月期	7,957,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	135,182株	2021年3月期	135,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	7,818,342株	2021年3月期3Q	7,813,652株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(追加情報) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	4,697	6,395	1,697	36.1
売上総利益 (%)	1,294 (27.6)	1,861 (29.1)	566	43.8
営業利益又は営業損失(△) (%)	△861 (△18.3)	61 (1.0)	923	—
経常利益又は経常損失(△) (%)	△694 (△14.8)	142 (2.2)	837	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△) (%)	△428 (△9.1)	406 (6.3)	834	—

(注) 売上総利益、営業利益又は営業損失、経常利益又は経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失の下段に記載している数値は、それぞれ売上高に対する割合を示しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は63億95百万円(前年同四半期比36.1%増)となりました。また、売上総利益は18億61百万円(前年同四半期比43.8%増)、営業利益は61百万円(前年同四半期比9億23百万円増)、経常利益は1億42百万円(前年同四半期比8億37百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6百万円(前年同四半期比8億34百万円増)となりました。

各商材カテゴリ別の売上高の状況は、次のとおりです。

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
リアルイベント分野	2,021	3,619	1,598	79.1
デジタル分野	1,153	1,270	117	10.2
商環境分野	1,415	1,363	△52	△3.7
その他	108	142	34	31.8
売上高合計	4,697	6,395	1,697	36.1

リアルイベント分野の売上高は36億19百万円(前年同四半期比79.1%増)となりました。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により、展示会や商談会の納品活動が増加したことに加え、年末年始のプロモーション活動等が重なりリアルイベント分野の納品活動が進捗したことで売上高が大きく拡大しました。

デジタル分野の売上高は12億70百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。主な要因としては、2020年6月開設の自社スタジオを活用したオンライン配信などが前期に引き続き需要が高いことに加え、グループ会社のスプラシアが提供しているオンライン展示会プラットフォームEXPOLINEの売上が拡大したこと等によります。

商環境分野の売上高は13億63百万円(前年同四半期比3.7%減)となり、オフィスの内装空間の施工を請け負うなど堅調に推移しております。

営業費用（売上原価＋販売費及び一般管理費）につきましては、前期より取り組んできたテレワーク普及に伴う賃借オフィスの一部返却など経費見直しの効果もあり、前期と比較し売上高比が19.3ポイント改善し63億33百万円となり、営業利益は61百万円（前年同四半期比9億23百万円増）となりました。

また、営業外収益に雇用調整助成金等の収入77百万円を計上したこと等により、経常利益は1億42百万円（前年同四半期比8億37百万円増）となりました。また、2021年4月15日公表の「子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、株式会社アイアクトの株式売却に伴い、関係会社株式売却益として4億21百万円を特別利益として計上しました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6百万円（前年同四半期比8億34百万円増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については52億50百万円（前連結会計年度末比8億3百万円増）となり、主な要因としては、業績の回復に伴い売掛債権が4億13百万円、仕掛品が3億64百万円増加したことによります。

負債は、38億61百万円（前連結会計年度末比3億87百万円増）となり、主な要因としては契約負債（前受金）が増加したことによります。純資産は、四半期純利益の計上により13億88百万円（前連結会計年度末比4億15百万円増）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年11月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。また、業績は堅調に推移しており現時点ではコロナウイルスによる影響は軽微と見込んでおりますが、年初からの急激なコロナウイルス感染症の再拡大に伴い、今後の業績推移等に影響を及ぼす可能性がございます。通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,013,889	2,116,118
受取手形及び売掛金	1,364,920	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,778,176
仕掛品	194,566	559,463
原材料及び貯蔵品	868	3,802
未収還付法人税等	140,494	—
その他	162,384	170,519
貸倒引当金	△10,212	△1,170
流動資産合計	3,866,912	4,626,910
固定資産		
有形固定資産	159,168	320,944
無形固定資産		
ソフトウェア	88,059	47,270
その他	8,009	504
無形固定資産合計	96,069	47,775
投資その他の資産		
投資有価証券	9,226	9,215
繰延税金資産	119,635	49,107
敷金	194,759	194,684
その他	36,097	27,164
貸倒引当金	△34,587	△25,389
投資その他の資産合計	325,130	254,782
固定資産合計	580,369	623,502
資産合計	4,447,282	5,250,412
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	493,808	586,594
短期借入金	1,700,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	234,277	173,332
リース債務	2,818	3,588
未払法人税等	22,654	106,043
前受金	61,339	—
契約負債	—	524,824
賞与引当金	52,542	45,595
工事補償引当金	3,446	—
その他	541,092	523,654
流動負債合計	3,111,978	3,463,632
固定負債		
長期借入金	356,672	383,227
リース債務	4,972	8,093
退職給付に係る負債	—	6,587
固定負債合計	361,644	397,907
負債合計	3,473,623	3,861,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	185,768	190,333
資本剰余金	300,569	305,133
利益剰余金	580,636	986,727
自己株式	△97,002	△97,002
株主資本合計	969,972	1,385,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,686	3,679
その他の包括利益累計額合計	3,686	3,679
純資産合計	973,658	1,388,871
負債純資産合計	4,447,282	5,250,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,697,602	6,395,380
売上原価	3,403,255	4,534,343
売上総利益	1,294,346	1,861,037
販売費及び一般管理費	2,155,915	1,799,079
営業利益又は営業損失(△)	△861,569	61,957
営業外収益		
受取利息	218	157
受取配当金	245	192
貸倒引当金戻入額	11,382	9,331
雇用調整助成金	147,803	77,027
雑収入	18,075	3,820
営業外収益合計	177,724	90,528
営業外費用		
支払利息	9,243	9,584
雑損失	1,315	135
営業外費用合計	10,558	9,720
経常利益又は経常損失(△)	△694,403	142,766
特別利益		
固定資産売却益	75,639	336
関係会社株式売却益	—	421,011
特別利益合計	75,639	421,348
特別損失		
固定資産除却損	21	1,272
特別損失合計	21	1,272
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△618,785	562,842
法人税、住民税及び事業税	1,622	91,586
法人税等調整額	△191,788	65,164
法人税等合計	△190,165	156,750
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△428,619	406,091
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△428,619	406,091

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△428,619	406,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142	△7
その他の包括利益合計	△142	△7
四半期包括利益	△428,762	406,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△428,762	406,084

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間に連結子会社であった株式会社アイアクトの全株式を譲渡したことに伴い、株式会社アイアクトを連結の範囲から除外しています。

第2四半期連結会計期間に株式会社ニチナンの全株式を取得したことに伴い、株式会社ニチナンを連結の範囲に含めています。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより商材カテゴリーのうち「商環境分野」における工事契約に関して、一定期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗に基づき一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合（インプット法）で算出しております。なお、工事期間がごく短い契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が452,597千円、売上原価が393,938千円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ58,659千円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第2四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示し、また、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

「II 当第3四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

第1四半期連結会計期間において、当社グループは「エクスペリエンス・マーケティング事業」の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社グループは従来、「リアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業」・「デジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首より単一セグメントに変更しております。

この変更により、「エクスペリエンス・マーケティング事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

また、第2四半期連結会計期間に株式会社ニチナンの株式取得を行い、連結の範囲に含めましたが、同社の事業内容も「エクスペリエンス・マーケティング事業」に該当します。

（追加情報）

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の決算短信の（追加情報）に記載した内容から重要な変更はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

## ② 受注状況

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

前第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業	3,785,868	34.9	2,760,601	61.1
合計	3,785,868	34.9	2,760,601	61.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご覧ください。前第3四半期連結累計期間に係る指標については、変更後の報告セグメントを遡って適用した後の指標となっております。株式会社アイアクト連結除外による影響額は、受注高△347,918千円、受注残高△252,032千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業	8,692,998	229.6	4,188,669	151.7
合計	8,692,998	229.6	4,188,669	151.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

前第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業(千円)	4,366,902	48.8
合計(千円)	4,366,902	48.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご覧ください。前第3四半期連結累計期間に係る指標については、変更後の報告セグメントを遡って適用した後の指標となっております。株式会社アイアクト連結除外による影響額は、△330,699千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業(千円)	6,395,380	146.5
合計(千円)	6,395,380	146.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。